

第5回 長野県総合計画審議会 補足資料

平成29年(2017年)8月25日

企画振興部総合政策課

1 現状認識について (P2 ~ P8)

2 基本目標について (P9)

3 めざす姿について (P10)

1 現状認識について

- 政策立案に当たって認識すべき項目として、
「長野県を取り巻く状況」
「長野県の特長」
を整理し、前回（6月12日）議論
- 議論を踏まえ修正（P3～P8）
（「長野県の特長」について、「弱みも認識する必要がある」
とのご意見を踏まえ、「長野県の特長」と修正）

【現状認識：長野県を取り巻く状況①】

1 世界規模の動き

※ _____ 委員意見による追加

○ 世界の結びつきの緊密化

- ・ヒト、モノ、カネ、情報が国境を越えて行き来し、個人や地域が世界と直接繋がる時代。特に成長著しいアジア諸国との経済的な結びつきが重要性を増す。
- ・世界の人口増加や食料需要の変化、様々な分野での国際的な枠組みの変動など、長野県の経済・社会に影響を及ぼしかねない動きにも注目する必要がある。

○ 技術革新の急速な進展

- ・「第4次産業革命」ともよばれるAI、IoT、ロボットなどの技術革新が急速に進む。
- ・我が国でも、技術革新を活用して、新しい価値やサービスが次々と創出される「Society5.0」に向けた動きが始まる。
- ・AIやロボットに代替されない人間固有の能力が重要。

○ SDGsなど経済・社会・環境の持続可能性への気運の高まり

- ・経済・社会・環境の課題の統合的な解決をめざすSDGsがあらゆる主体の共通の目標として注目。
- ・パリ協定が発効し、世界の経済・社会活動の方向性が脱炭素社会の構築に転換する。

【現状認識：長野県を取り巻く状況②】

2 日本国内の動き

※ _____ 委員意見による追加

○ 急激な人口減少と東京圏への人口流出

- ・我が国及び本県の人口は今後も減少が続く。
- ・労働力や地域社会の担い手の減少、需要の減退による地域活力の低下が懸念される。
- ・東京圏への人口の一極集中の一方で、田園回帰の動きも見られる。

○ 低成長経済の長期化による生活意識の変容

- ・低成長経済の中で生まれ育った世代が増加。
- ・核家族・単身世帯の増加やスマートフォンの普及による情報の多元化などを背景に、個人としての能力発揮や心の豊かさに重きを置くライフスタイルが広がる。

○ 貧困・格差の拡大

- ・相対的貧困率が上昇傾向
- ・特にひとり親、若年世帯の貧困が、次の世代に連鎖する懸念。

【現状認識：長野県を取り巻く状況③】

2 日本国内の動き(続き)

※ _____ 委員意見による追加

○ 人生100年時代へ

- ・平均寿命は延伸が続いている。
- ・健康で生きがいを持って過ごせるように、暮らし・学び・働きの変革が求められる。
- ・経済・社会の担い手が減る中、高齢者の参画が期待される。
- ・医療、介護を必要とする期間が長期化し、社会保障費の負担増が懸念される。

○ 広域交通ネットワークの整備

- ・リニア中央新幹線、北陸新幹線、高速道路等の高速交通網の拡大により、県境を越えた取組が増加。

○ 東京オリンピック・パラリンピックの開催

- ・訪日外国人の増加、海外との交流拡大が見込まれる。

【現状認識：長野県の特⺞①】

1 豊かな自然環境

※ _____ 委員意見による追加

- 県土の8割を占める森林、清浄な水や空気に恵まれている。
- 南北に長く、高山帯から平野部までを擁し、気候や自然環境は地域ごとに多様性に富む。

2 大都市圏へのアクセスの良さ

- 県内の多くの地域が、首都圏と中京圏の両方から200km圏内と、比較的近い距離に位置する。
- リニア中央新幹線など高速交通網の整備により、国内外から訪れやすい基盤が整いつつある。
- 移住したい県ナンバーワンだが、魅力や情報が十分に伝わっていない懸念もある。

【現状認識：長野県の特性②】

3 多様な個性を持つ地域

※ _____ 委員意見による追加

- 市街地が広大な県土に分散して形成され、農山村や豊かな自然と近接している。
- 盆地や谷ごとに独自の文化が継承されている。
- 医療サービスや交通アクセスに地域間格差も存在する。

4 全国トップレベルの健康長寿

- 国内でも最高水準の長寿県である。
- 健康で、年齢を重ねても活躍している。
- 減塩や野菜の多い食生活による健康維持を、多くの県民が認識し実践している。

【現状認識：長野県の特⺞③】

5 自主⺿⺿の県⺿⺿

※ _____ 委員意見による追加

- 公民館数や、人口当たりの図書館、博物館数が全国一多く、全ての世代に学ぶ環境がある。
- 社会経済の変化に対応し、業態を変化させつつ技術を高めてきた中小製造業が集積している。
- 国内シェア上位で、高品質の農畜産物が生産されている。
- 地域への誇りが、全国トップレベルの消防団員数や災害時の助け合いにつながっている。

2 基本目標について

- 県民と共有しながら計画を推進するため、その方向性を端的に表現するもの
- この計画の基本目標を、現行計画を基本として、以下のキーワードを加えて構築(バージョンアップ)したい

《現行計画》

確かな暮らしが営まれる美しい信州

《キーワード》

「**学び**」 一人ひとりが常に向上心を持って主体的に学習活動に取り組んできた歴史と県民気質

「**未来**」 県民が夢や希望を描ける未来志向の計画

3 めざす姿について

- 概ね2030年頃にめざす長野県の姿を描くもの
- この計画のめざす姿を、現行計画を基本として構築(バージョンアップ)したい

《現行計画》

1 世界に貢献する信州	2 「豊かな」ライフスタイルを実現する信州	3 誰にでも居場所と出番がある信州	4 健康長寿世界一の信州	5 一人ひとりの力を引き出す教育県信州
<p>世界との相互依存が深まる中で、地域の知恵や資源を活かして信州が世界に、そして他地域に貢献している。</p> <p>(1)世界をリードする最先端産業</p> <p>(2)世界品質の農林産物</p> <p>(3)世界をひきつける信州の魅力</p> <p>(4)知の拠点</p>	<p>自然や伝統と最先端の技術が調和した、ゆとりある暮らしやすい信州となっている。</p> <p>(1)心潤う信州の暮らし</p> <p>(2)人生を彩る感動との出会い</p> <p>(3)自然からのお裾分け</p> <p>(4)どこでも営まれる快適な暮らし</p>	<p>誰もが等しく社会からその存在を認められ、自らの可能性に挑戦し、自分らしく生きている。</p> <p>(1)一人ひとりの自己実現</p> <p>(2)子育て応援先進県</p> <p>(3)認め合い支え合う社会</p>	<p>世界に誇れる健康長寿先進県が、将来にわたり継承・発展している。</p> <p>(1)生涯にわたる健康づくり</p> <p>(2)生きがいが生み出す元気な暮らし</p> <p>(3)健康長寿を支える保健・医療</p>	<p>子どもから大人まで全ての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している。</p> <p>(1)人間力を養う</p> <p>(2)楽しい学び舎</p> <p>(3)自然の中でたくましい育ち</p> <p>(4)個性輝く子どもたち</p> <p>(5)常に学び自ら活かす</p>